回復期リハビリテーション病棟入院料1に係る施設基準について

2A病棟 :令和8年7月1日～令和8年9月30日

退院患者数	95名

リハビリテーションを要する状態の内訳	
（1）脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント手術後、脳腫瘍、脳炎、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、腕神経叢損傷等の発症、義肢装着訓練を要する状態又は手術後	5名
（2）重度脳血管障害の発症又は手術後	4名
（２）のうち高次脳機能障害者	0名
（3）大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の骨折の発症、二肢以上の多発骨折の発症後又は手術後等	32名
（4）外科手術又は肺炎等の治療時の安静により生じた廃用症候群	4名
（5）大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の神経、筋又は靱帯損傷後	1名
（6）股関節又は膝関節の置換術後	49名
（7）急性心筋梗塞、狭心症発作の他急性発症した心大血管疾患又は手術後	0名
（8） （1）～（7）に準ずるもの	0名

回復期リハビリテーション病棟入院料 実績指数	64.72

※実績指数とは･･･回復期リハビリテーション病棟での効果を退院時の状態が入院時とどの程度変化したかを表す指数です。

2026/10/1

回復期リハビリテーション病棟入院料1に係る施設基準について

5A病棟 :令和8年7月1日～令和8年9月30日

退院患者数	39名

リハビリテーションを要する状態の内訳	
（1）脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント手術後、脳腫瘍、脳炎、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、腕神経叢損傷等の発症、義肢装着訓練を要する状態又は手術後	9名
（2）重度脳血管障害の発症又は手術後	5名
（２）のうち高次脳機能障害者	4名
（3）大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の骨折の発症、二肢以上の多発骨折の発症後又は手術後等	21名
（4）外科手術又は肺炎等の治療時の安静により生じた廃用症候群	4名
（5）大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の神経、筋又は靱帯損傷後	0名
（6）股関節又は膝関節の置換術後	0名
（7）急性心筋梗塞、狭心症発作の他急性発症した心大血管疾患又は手術後	0名
（8） （1）～（7）に準ずるもの	0名

回復期リハビリテーション病棟入院料 実績指数	61.15

※実績指数とは･･･回復期リハビリテーション病棟での効果を退院時の状態が入院時とどの程度変化したかを表す指数です。

2026/10/1